



メキシコ留学
青木 志帆 AOKI SHIHO
令和元年採用



メキシコでの研修を通して

なぜメキシコ研修？

私は現在、研修生としてメキシコ国立大学にてスペイン語やラテン文化を勉強しています。総務省で何故スペイン語?と思われた方も多いのではないのでしょうか。実は総務省の情報通信分野では、日本の経済発展及び他国の課題解決に貢献すべく、日本の質の高いICTの海外展開にも取り組んでおり、そのフィールドは中南米諸国含め世界各国に広がっています。

メキシコでは、ホストファミリー、所属しているスポーツチーム、語学学校での様々な国籍のクラスメート等に囲まれて刺激的な毎日を送っており、本研修で語学はもちろんこれまで全く触れる機会がなかったラテン文化を学べることは、今後のキャリア及び人生にとって大きな財産となると感じています。

温かい職場環境

2年間所属した国際郵便の部署では、国連機関である万国郵便連合(UPU)の担当として、欧州からアフリカまで様々な国の出張に同行し、2国間及び多国間の政策交渉の場を経験させて頂きました。特に、コートジボワールでのUPU大会議にて、約一か月に渡る国際会議及び日本の候補者が事務局長に当選する場に立ち合えたことは、一生忘れられない経験です。

私は元々専門知識や語学力もなく、様々な業務に取り組む中で苦労や失敗も多々ありましたが、上司や同僚の方々に支えられ、徐々に自信と責任を持てる業務の幅が広がっていきました。総務省は若いうちから多くの成長の機会がある職場と感じていますが、それは温かい職場環境があってこそと思います。



～オフィス改革の取り組み～

総務省では職員がより付加価値の高い業務に従事できるよう、働き方改革に取り組んでいます。環境作りの一つとして場所に縛られないオフィス改革を提案、自ら実践しています。



研修制度

総務省では行政官としてのキャリア形成をサポートするため、地方公共団体、民間企業や国際機関との人事交流、国内外の大学等で知見を高めつつ、総務省の行う政策等に資する研究等、多様な経験を積む機会が用意されています。

階層別研修

現在や将来の役職に相応しい知識や技能習得のため、新規採用職員、係長級、課長補佐級、課長級等、職位に応じた様々な階層別の研修を実施しています。新規職員研修では服務やコンプライアンス、情報公開制度等、国家公務員として相応しい知識と教養を身につけていきます。

専門分野研修

各分野の専門的なスキルを身につけられる研修も豊富に用意されています。統計分野では、統計の基礎知識から統計理論、統計分析まで幅広い研修課程を設けているほか、情報通信分野では、ICTの基礎知識を学ぶ総合研修、無線通信やサイバーセキュリティ等の特定テーマを学ぶ専門研修を受講することができます。

語学研修

国際舞台で活躍する職員を育成するため、英語等の語学研修を毎年実施しています。日常の業務でのコミュニケーションを円滑にしたい、海外赴任や海外留学に備えて勉強をしたい、将来に向けてスキルアップを図りたいなど、様々なニーズを持つ職員がこの研修を受講し、語学力を高めています。